

日本MOT学会2016年12月度STAMP研究討論会(東京)

第1回 STAMP ワークショップ in Japan (九州)のご案内

(日本 MOT 学会 共催)

日本 MOT 学会
企画委員 川邊 安彦

MOTに関心をお持ちの皆さんには日頃から多大のご支援をいただきありがとうございます。
今般、九州大学で行われる第1回STAMPワークショップ in Japan九州大学との共催で東京でのSTAMP研究討論会の企画をしましたので皆様のご参加をお待ちしております。

1. STAMP 研究討論会

日時：2016年12月2日(金) 午前9時～午前11時

場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー25階 B会議室

主催：学校法人法政大学

共催：日本 MOT 学会、国立大学法人九州大学

<http://www.js-mot.org/news.html>

2. 第1回 STAMP ワークショップ in Japan

日時：2016年12月5日(月)～7日(水)

場所：5日九州大学稲盛財団記念館、6・7日九州大学西新プラザ

主催：国立大学法人九州大学

共催：日本 MOT 学会、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)、有人宇宙システム株式会社(JAMSS)、
一般社団法人 組込みシステム技術協会 (JASA)

<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20161205.html>

ポイント：

1. STAMP 研究討論会 (参加募集人員 40名)

STAMP とは、MIT Prof. Nancy Leveson が提唱した「ソフトウェアの信頼性を高めるだけでは安全性は高まらない」という提起のもと、相互作用とコントロールに着目したアクシデントモデルです。既にその有効性が航空機、自動車、医療などで立証されています。

今回は、日本における STAMP 研究専門家と MIT Dr. John Thomas との研究討論会を実施致します。

- ① MIT Dr. John Thomas からの STAMP 概要説明
- ② STAMP 研究専門家とのパネルセッション

2. 第1回 STAMP ワークショップ in Japan

IoTに代表されるように、あらゆるものがつながり、相互作用を持ち得る現代において、このようなモデルに関する知見を広く共有する場が必要と考えられ今回のワークショップを企画しました。また、これまで以上の急速な変化が予想されるこれからの社会技術システムにおいて、防衛的な安全性の追求を超えるものとして期待されているレジリエンスエンジニアリングや次世代の安全性に関する講演も予定しています。

特筆すべきプログラムは、Keynote Speech MIT Dr. John Thomas の講演になります。他に招待講演・一般講演も含まれた充実した内容です。尚、プログラムは上記サイトを参照ください。

是非、一度 STAMP とはどのような考え方なのかご確認いただければ今後の安全リスクマネジメントの方向性が再確認できることと考えます。

申し込み方法：

上記サイトの申込フォームよりお申込みください。

参加費： 無料

以上